第 119 回日展

第 3 科（彫刻）　特選授賞理由

題名　　作者名

春隣　　**上野彩花**

授賞理由

　ほのかな赤を基調とした着色が、風を受け体をはずませた少女の姿に非常に合っている。片足をあげたポーズと地山の関係には彫刻の構成としてさらに一考の余地はあるが、瑞々しい感性がとりわけ目を引いた。

題名　　作者名

道標　　**諸井謙司**

授賞理由

　右足に重心を乗せ、左手を軽く上げた緩やかなポーズ、またそれに伴う布の柔らかさが、とても自然に表現されています。服、靴、マフラー等の細部、着色や台座の工夫も相まって、現代的な雰囲気を感じる作品です。

きらきら　　**樽井美波**

授賞理由

　両脚で真っすぐに立つ姿態と石膏の質感を生かした造形からは、静謐な強さを持った存在感が示される。微細に散りばめられた色も題名と相まって効果的であり、独自の雰囲気を醸し出している。

風の日の半月　　**山田瑠海**

授賞理由

　少し崩れて寄りかかる体とその表情から穏やかな風が感じられる。そして力の入った指先から作者の強い意志が伝わる。夜空に浮ぶ半月の形を人体になぞらえたのだろうか、絶妙のフォルムにまとめられた秀作である。